

## 中川流域の排水対策の推進

### ■ 本地域の課題

- ・大雨により、農作物や農業施設等の湛水被害が頻発している
- ・徹底した排水対策には、農業排水路と河川の一体的な整備が必要
- ・広大で、複数の自治体にまたがる本地域では、国営事業による排水対策が不可欠
- ・水稲だけに依存しない、高収益作物を導入した地域農業の活性化が重要

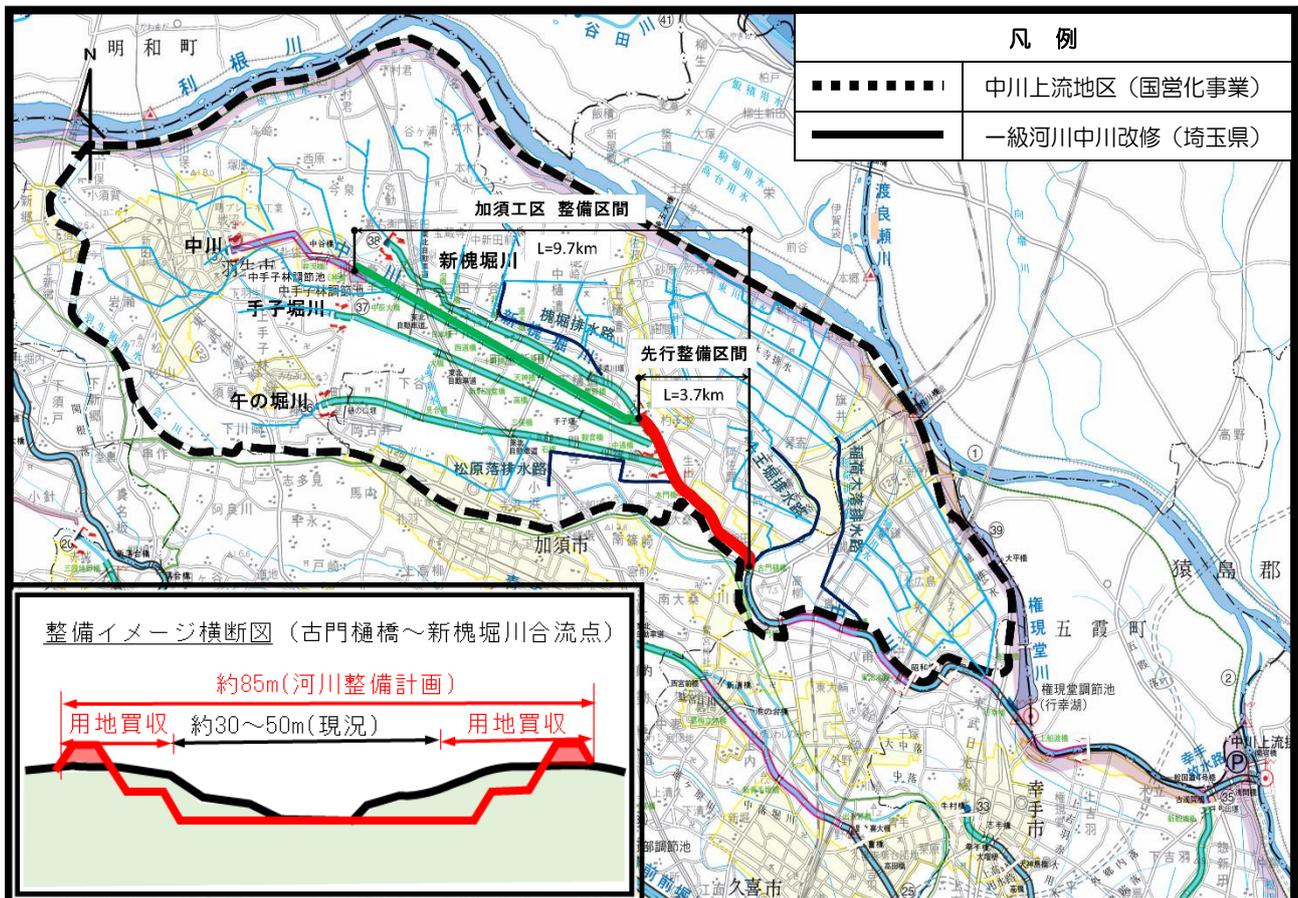
### ■ 一級河川中川の改修計画

事業区間 : 古門樋橋(国道125号)から新槐堀川の合流点までの3.7km(先行整備区間)  
事業期間 : 平成27年度~2028年度  
事業内容 : 河川拡幅3.7km 橋りょう架替 県道1橋、市道5橋  
事業主体 : 埼玉県行田県土整備事務所

### ■ 中川上流地区の概要

地区面積 : 約10,700ha(受益面積6,600ha)  
排水路総延長 : 約90km(中川を流末とする土地改良区排水路、市排水路)  
関係団体 : 関東農政局、県、加須市、羽生市、久喜市、羽生領島中領用排水路土地改良区  
・平成26年度から埼玉平野地区事業化検討会で国営事業化を検討  
・関東農政局が国営事業の調査地区として31年度予算計上

中川上流地域 河川・排水路図



☆ 平成31年度予算額 : 県管理河川等整備支援事業 323千円【市費】

中川上流地区排水対策整備促進事業 ゼロ予算